

静岡県西部・浜北の地に開設以来 33 年。今もなおピカピカのコースが健在だ。安全で手軽なコースとして初心者にもお勧め

浜北コース 静岡県 No.3
JOA公認 No.62 6km 7 ポスト

33 年の歴史

静岡県浜北市。平成 17 年 7 月 1 日、12 市町村の合併で新「浜北市」が誕生し、地図上からその名が消えてしまいました。その旧「浜北市」にパーマネントコースが設置されたのが昭和 47 年のこと。静岡県では前年の暮れに「伊豆下田爪木崎」コースが公認第一号として誕生し、翌年に「朝霧」「高天神」コースとともに「浜北」コースは開設の運びとなりました。以来すでに 33 年も経過しているものの、今もなおピカピカのコースが健在であるのは、地元の方々の PC に対する熱が冷めることがなかったからでしょう。

開設当初は 10 km のコースでしたが、約 10 年で一時休止となり、コース変更を 2 度繰り返して現在の 6 km 7 ポストというコースに至っています。私にとっては 2 度目の訪問。前回は 13 年前の 93 年 2 月のこと。休止明けの 2 代目のコースで、南の平野部近くまで足を伸ばす設定でした。そのコースも変更になったとの情報を知り、早速再訪することにしたのですが、半分の 4 箇所はかつてと同じです。旧コース 8 ポストの南側にあった残り 4 箇所が削除され、新たに 3 箇所が追加されています。旧コース 8 ポストのうち、1 箇所だけ開設当初のポストが流用されていましたが、残念ながらこのポストは今回姿を消していました。残る 7 ポストは現コースでもそのまま使用されています。きれいに再塗装が施され、自然のなかで際立っていました。

この日はのんびりと起床。朝 9 時に使用可否の確認電話を現地に入れ「そのまま立てっぱなしですから、いつでも利用できますよ」との快活な返事を

もらって、11 時前に神奈川の自宅を出発しました。相模大野からロマンスカーで小田原行き、新幹線のこだまで浜松へ。ここから初めて乗車する遠州鉄道で終点の「西鹿島(にしかじま)」までゴトゴトと揺られ、13 時過ぎに到着。駅前の蕎麦屋で昼食をとり、タクシーで 10 分(1,090 円) マップ販売所の県立森林公園内ビジターセンター「パードピア浜北(053-583-0443 水曜日と年末年始は休み)」へ向かいます。

受付でマップを請うと、1 枚 100 円で販売してくれます。以前のマップは 84 年調査のものでしたが、今回のものは 94~95 年調査。縮尺も 1:10,000 になり見やすくなりました。マスターマップは 6 km とこのコースのポスト 1 と 2 をカットした 4.5 km の 2 種。ここで転記を済ませ、スタート地点の「森林公園会館」へ。南へ数分のところにある会館は、人の気配もなくひっそりとしています。13 年前と同じ案内板が健在で、掲示されているマスターマップも判読可能な状態で保たれています。



管理の行き届いたコース

スタートは14時3分。新コースで組み入れられた東側のエリアへ歩き始めます。森林公園内ということもあり、すべてのルートは快適な遊歩道です。

昭和40年に整備された公園ながら、施設の管理が行き届き、古びたものはまったく見られません。思いのほか、起伏のアップダウンはある方で、第1ポストへも急な階段を下ります。三番池近くの湿地帯につくられた木道を歩き、東へ向かうと道端にまぶしいポストが立っています。地図上ではこのあたり、細い破線と太い破線で小道と小径の使い分けをしていますが、実地ではその差がありません。いずれも立派な歩道になっています。要注意。

第2ポストは沢から一気に上りが控えています。尾根にたどり着き、赤松林のなかにつづく舗装道路を東に向かうのですが、正規のルートは直線距離と比較するとかなり大回りを強いられます。高圧線の下にある分岐まで遠回りするのも面倒でしたので、途中で細い小径をくだり、一本北の小道へ短絡。西側からトイレ脇にあるポストに到達しました。OLコースからは外れますが、ここから遊歩道をさらに東へ向かうと「空の散歩道」という吊り橋を楽しむこともできます。

第3ポストはいったんスタート地点付近まで逆戻り。駐車場の横から「うぐいす谷親水広場」の道標に従い、すぐの分岐で右手に進みます。このポストから3箇所は、かつてのコースと重複しています。小さな橋を渡り、蛇行するルートをスイスイと歩いていくと、曲がり角にある小さな丸太ベンチの前でポストと対面です。

第4ポストも、野鳥の森と名づけられた森林公園北西部の森の中につづく遊歩道を引き続き歩いていきます。とはいえ、鳥に関する知識のない私にとっては、「留鳥」といわれる越冬種も目に入らず、ただただ歩くのみ。尾根の分岐を過ぎ、沢まで下ると分岐近くの階段の途中でポストに出くわします。

古い地図ではここから沢伝いか、西の道路に出るルートしか記載されていませんが、新地図には道路に沿った遊歩道が記されています。第5ポストまではルートチョイスの楽しみがあり、今回はこの新道を歩くことにします。早くも西日が差し込み、暮色に包まれ始めるなか、まずは九十九折の階段へ。登りきったあとはなだらかな道が続きます。南に向かい、三叉路を右に入る

とすぐに赤色が目にとまります。以前よりわずかに北寄りに移動されているうえ、ここだけ残されていた開設当初のポストでもなくなっていました。残念。

第6ポストへ向かうルートの見所は「みはらし広場」。木造の展望台があり、赤松越しに遠景が楽しめます。ただ、展望台最上段がちょっと狭いのが難点ではありますが。そのままくだけ「西の谷奥池」をかすめて水路沿いに続く道を進みます。ほどなく「つどいの広場」に到着。あずまの横にあるポストはすぐに確認できるでしょう。短いコースですが、途中でお弁当休憩をとるのなら、さきほどの「みはらし広場」が、ここが好適です。

早くも次が最終ポスト。3ヶ月ぶりのパーマントコースめぐりに、ようやく体が馴染んできたところではありますが...。「スポーツ広場」にくだけ、改めて「西の谷奥池」に向かいます。堤から続く「水辺の散歩道」という、この上なくのどかな道を経由し、最後の上り坂へ。ここも丸太階段が立派に整備されています。ピークに向かう途中の林にひっそり立つポストを確認して、全ポストチェック完了。旧コースでもここが最終の第8ポストで、ゴールへはまったく同じ道のりです。

前回は1時間22分で終了しましたが、今回は途中で写真を数多く撮影していたこともあり、所要は1時間41分でした。

バスがやってくるには1時間以上もあることから、帰りは天竜浜名湖鉄道の「岩水寺」駅までのんびり歩くことにしました。下り坂のため、30分の道も楽々。山を下りきると、第二東名高速の工事中で、さらに工事の際に見つかったという遺跡の発掘真っ最中でした。「岩水寺」駅は改札も駅舎もない無人駅。吹きさらしの待合所があるだけで、ローカル色満点。かつては行き違いのできる島式のホームだったようですが、今は片側しか使われていません。芯まで冷える寒さの中、30分の待ち合わせで1両のディーゼルカーがやってきました。隣の「西鹿島」で乗り換えることなく終点の「掛川」まで乗車。あまりの暖かさで心地よい疲れとがあいまって、途中はしばらく夢とうつつを彷徨っていました。

掛川からも東海道線の鈍行列車に乗り、行きとは打って変わって各駅に停車。小田急線に乗り換える小田原までの直通電車はなく、静岡、熱海と乗り換えること2度。その度に寒い寒いホ

ームでの乗り継ぎ列車を待つ羽目に。ま、こんな旅もいいもんだと、列車に乗り込んでからは思ったりもし、今年3度目のパーマントコースめぐりを終えました。

小コースですが、初心者にも安全で、手軽な散策コースとしてお勧めです。

(2005年12月17日 踏破)

(大高竜亮)



イチオシイベント

今年の6月4日は神野寺!

第28回 東大OLK大会

千葉県君津市にて、旧マップ「神野寺」をリメイクして開催致します。関東屈指の本格派テレインでありながら、東京からバスにて1時間という近さです。当日は都内より本大会専用バスも運行致します。

地図調査も後半戦に突入り、当日運営も着々と話が進み、大会が近づいていることを実感します。私どもの大会も今大会で28回目を迎えることとなりました。これにいたるまでに毎年無事に大会を開催することができたことにつきまして、先代に畏敬の念を表するとともに、それを支えてくださった方々皆様に感謝申し上げます。今大会も先輩方が残したような素晴らしい大会を作り上げるべく、是非とも頑張らせていただきたいと思います。

地図情報(予定)

東大OLK作成「神野寺」Remake
縮尺 1:10,000 等高線間隔 5m
通行可能度 4段階表示
Trimble社D-GPS使用

<http://comp.olk.jp/28/>
多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。(田中耕史)